

施策	施 策 名
213	交通安全対策の推進

安心して歩いたり、安全に移動することができる交通社会を実現するため、一人ひとりの交通安全意識の向上と交通危険個所の解消を図ります。

交通安全運動の活性化を図り、地域の特性に応じた運動を展開するなかで、全国交通死亡事故ワースト10からの脱却を目指し、人口10万人以上の伊勢湾岸6都市を対象に集中的な交通安全対策を行ってきました。安全・快適な交通環境づくりを進めるため、地域の状況に即応した横断歩道や信号機などの交通安全施設の整備を進めてきました。交通秩序の確立を図るため、交通事故に直結する悪質な違反等を重点として指導取締りを強化してきました。

平成12年度においては、引き続き6都市を中心とした交通安全対策に取り組み、ワースト10からの脱却を目指すほか、交通安全施設の整備、維持管理を図り、安全・快適な交通環境づくりを推進します。

主な事業

- 1 ワースト10脱却モデル地区事業 (予算額 6,144(6,144)千円)
【(201)交通安全運動の展開事業】〔生活部〕
(予算額 14,055(14,055)千円)〔警察本部〕
人口10万人以上のモデル6都市が中心となって交通事故の実態にあった諸対策を集中的に推進し、全国交通死亡事故ワースト10からの脱却を図ります。また、多発する交通事故を抑止するため、高齢者対策事業、交通安全教育事業、交通安全フェスタ事業等を推進します。
- 2 道路交通安全対策事業 (予算額 3,539,000(1,416,000)千円)
【(401)安全・快適な交通環境づくり事業】〔県土整備部〕
交通事故防止のため、歩道設置、交差点改良、防護柵、道路標識等を整備し、交通安全を図ります。
一般県道三行庄野線(鈴鹿市)、一般国道306号(亀山市)、一般国道422号(上野市)
- 3 交通安全施設整備事業 (予算額 1,723,555(1,042,392)千円)
〔警察本部〕
交通円滑化対策、交通事故防止対策等を推進するため、交通安全施設の整備、維持管理を図ります。

《関連する施策名》

- 532 道路網の整備